

款	項	目							
6	1	3	担当部局・課名		産業振興部農政課				
事業名			スマート農業推進事業（農業）						
事業区分		継続事業		政策6 活力ある産業					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	①	負担金、補助及び交付金	⑤補助金（補助費）		6,100	5,783	0	317	95.0%
	②				0	0	0	0	###
	③				0	0	0	0	###
	④				0	0	0	0	###
	⑤				0	0	0	0	###
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥（①～⑤の計）➡			5,783	決算に関する説明書		
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 ➡			0	該当／頁	210	
	臨時会 補正		⑧（⑥+⑦）事業決算合計額 ➡			5,783	該当／頁	211	
100万円以上の不用額が生じた理由（該当のみ）									
歳入に関する 項目	決算額 （⑧）		特定財源内訳				一般財源		
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和7年度	5,783		0	0	0	5,700	83		
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金								
	県支出金								
	負担金等その他		ふるさと創生基金（ふるさと納税分）						
事業内容及び めざした目的 （具体的に）		農業者の高齢化や離農が進む中、ICTやスマート技術を活用した、農業の推進と農作業受委託のしくみを構築し、農作業の省力化及び効率化を図ることで、中山間地域における新しい次世代型農業を確立する。							
事業実績 （詳細説明） 事業一覧表／状況写真／図面等	○三次市スマート農業振興協議会に対する補助金 レーザーによる鳥獣被害防止機器のレンタル費用(385,770円) AIを活用した栽培管理システムの本体購入費用(267,180円) 水田用自動給水機の本体購入費用(204,200円) 水稻直播試験栽培用資材・消耗品費用(72,266円) AIを活用した栽培管理システム通信費用(59,520円) 振込手数料(990円) 合計執行額(989,926円) ○果樹・花き生産振興事業分 ロボット草刈機 200,000円(1件) ○ラジコン草刈機等導入支援 4,593,000円 ラジコン草刈機 1,462,000円(3件)、法面草刈機 3,131,000円(63件)								
	別添資料等 無 （事業一覧等）		    カラス被害防止機器 水田用自動給水機 AIを活用した栽培管理システム ラジコン草刈機						
成果/評価 * 事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか		三次市スマート農業推進協議会において、新たなスマート技術の実証実験を行った結果、果樹園地でのカラス被害防止機器（レーザー）は、カラスなどによる果樹の被害が低減し、水稻生産における水田用自動給水機については、水管理の省力化が図られたため、令和8年度から補助事業を開始しました。また、令和7年度に開始した、ラジコン草刈機等導入支援については、特に小規模農家の申請が多く、畦畔や法面の草刈作業の軽減と効率化が図られました。							

款	項	目							
6	1	3	担当部局・課名		産業振興部農政課				
事業名			スマート農業推進事業（鳥獣）						
事業区分		継続事業		政策 6 活力ある産業					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	①	負担金, 補助及び交付金	⑤	補助金（補助費）	3,900	3,447	0	453	88.0%
	②				0	0	0	0	###
	③				0	0	0	0	###
	④				0	0	0	0	###
	⑤				0	0	0	0	###
補正 区分	6月補正		12月補正	⑥（①～⑤の計） →		3,447	決算に関する説明書		
	9月補正		3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →		0	該当／頁	210	
	臨時会 補正			⑧（⑥+⑦）事業決算合計額 →		3,447	該当／頁	211	
100万円以上の不用額が生じた理由（該当のみ）									
歳入に関する 項目	決算額 （⑧）	特定財源内訳				一般財源			
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他				
令和7年度	3,447	0	0	0	0	3,447			
特定財源 内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称							
	国庫支出金								
	県支出金								
	負担金等その他								
事業内容及び めざした目的 （具体的に）	ICTを活用した集落への捕獲支援及び狩猟者の育成・確保を図るため、鳥獣対策の専門家による講習会を開催し、捕獲活動の省力化と効率化、新たな狩猟者の増加をめざす。								
事業実績 （詳細説明） 事業一覧表／状況写真／図面等	○三次市有害鳥獣駆除対策協議会補助金 3,346,815円 業務委託料 2,956,800円 狩猟者の後継者育成を図るための講習会などの開催 委託先: 株式会社野生鳥獣対策連携センター（兵庫県） 消耗品購入費 326,095円 協議会で管理している自動捕獲システムの修理代 備品購入費: 59,400円 協議会で管理しているICTカメラの更新 手数料: 2,420円 振込手数料 食糧費: 1,500円 講師お茶代 通信運搬費: 600円 切手代								
	○スマート農業推進事業補助金 100,000円 本事業に必要な箱わなやICTカメラなどの購入に対する支援 取組集落: 1件								
別添資料等									
無									
（事業一覧等）									
成果/評価 * 事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか	狩猟に興味がある方や狩猟免許取得間もない方に対する「狩猟の魅力体験講習会」は、狩猟に対する興味や知識が深まったことにより、研修参加者による狩猟免許取得や、狩猟免許取得者による捕獲意欲の向上につながりました。また、初めて開催した、集落ぐるみでの「鳥獣対策講習会」は、農業者をはじめ多くの参加があり、集落ぐるみでの対策の必要性や強化等について、意識の醸成につながることができました。 ICTを活用した集落への捕獲支援により、通信機能付きカメラなどの導入を行い、効率的で効果的な捕獲活動につながることができました。								



狩猟初心者等を対象とした専門家による捕獲講習会

款	項	目							
6	1	3	担当部局・課名		産業振興部農政課				
事業名			環境保全型農業推進支援事業						
事業区分		継続事業		政策 6 活力ある産業					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 負担金, 補助及び交付金		⑤ 補助金 (補助費)		500	257	0	243	51.0%
	②				0	0	0	0	####
	③				0	0	0	0	####
	④				0	0	0	0	####
	⑤				0	0	0	0	####
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤の計) →				257	決算に関する説明書	
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →				0	該当/頁	210
	臨時会 補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →				257	該当/頁	211
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)									
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)		特定財源内訳				一般財源		
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和7年度	257		0	0	0	0	257		
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金								
	県支出金								
	負担金等その他								
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	緑肥作物の活用による化学肥料の低減及び生分解性マルチフィルムや生分解性ポットなど、廃プラスチック削減に資する資材の活用により、地力の増進や生物多様性の保全などに効果の高い営農活動を支援し、持続可能な農業経営及び環境に配慮した農業の実現を図る。								
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	○緑肥作物利用事業 47,000円(3件 137.9a)								
	○生分解性等農業用資材利用事業 210,000円(8件 151.0a)								
	 生分解性マルチフィルム 緑肥作物 (レンゲ)								
別添資料等	無								
(事業一覧等)									
成果/評価 * 事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか	緑肥作物や生分解性マルチフィルムなどの活用により、化学肥料やプラスチック製品の使用量が軽減され、環境に配慮した農業の推進が図られましたが、前年度と比較すると減少しました。 化学肥料や農業の低減は、収量や品質の低下のリスク、労働時間やコストの増加につながることから、有機農業に関する知識の普及や、環境に配慮した農業への啓発を進めていきます。								

款	項	目							
6	1	3	担当部局・課名		産業振興部農政課				
事業名			有機農業等推進事業						
事業区分		新規事業		政策6 活力ある産業					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 報 償 費		講師謝礼		500	325	0	175	65.0%
	②				0	0	0	0	####
	③				0	0	0	0	####
	④				0	0	0	0	####
	⑤				0	0	0	0	####
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤の計) →				325	決算に関する説明書	
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →				0	該当/頁	210
	臨時会 補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →				325	該当/頁	211
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)									
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)		特定財源内訳				一般財源		
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和7年度	325		0	0	0	0	325		
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金								
	県支出金								
	負担金等その他								
事業内容及び めざした目的 (具体的に)		化学農薬及び化学肥料を極力使用しない、環境に配慮した農業や有機農業などの推進を図る。							
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状 況写真/図面等	3回開催 324,393円 1回目:講師4名 64,701円 ※有機農業が生態系に及ぼす効果及び有機農業実践農家による講演(参加者:82名) 2回目:講師3名(水稻編) 140,800円 ※有機農業実践農家による講演及び国の情勢、事業者による機械の説明(参加者:32名) 3回目:講師2名(野菜編) 118,892円 ※有機農業実践農家による講演(参加者:41名)								
									
別添資料等		無							
(事業一覧等)									
成果/評価 * 事業を執行した ことにより、どのよう な成果や効果をも たらしたのか		研修会を通じて、環境に配慮した農業や有機農業に対する意識の醸成が図られました。 今後も継続した研修会を実施し、環境に配慮した農業や有機農業などの取り組みを推進します。							

款	項	目						
6	1	3	担当部局・課名	産業振興部農政課				
事業名		堆肥購入促進事業						
事業区分		継続事業	政策6 活力ある産業					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称	予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 負担金, 補助及び交付金		⑤ 補助金 (補助費)	3,961	3,960	0	1	100.0%
	②			0	0	0	0	####
	③			0	0	0	0	####
	④			0	0	0	0	####
	⑤			0	0	0	0	####
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤の計) →		3,960	決算に関する説明書		
	9月補正	3月補正	⑦ その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →		0	該当/頁	210	
	臨時会 補正		⑧ (⑥ + ⑦) 事業決算合計額 →		3,960	該当/頁	211	
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)								
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)	特定財源内訳				一般財源		
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和7年度	3,960	0	0	0	0	3,960		
特定財源 内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金							
	県支出金							
	負担金等その他							
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	耕種農家と畜産農家の連携による家畜排せつ物の有効利用により、化学肥料の使用量を削減し、環境に配慮した農業の推進を目的に、堆肥の購入費用に対する支援(1,000円/トン)を行う。また、輸入飼料の高騰により、自給飼料の生産拡大を図るため、令和5年度から補助対象作物にWCS用稲を追加した。							
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	○堆肥の購入費用に対する助成 3,960,000円(89件、3,960トン) 水稻 2,543,000円(35件、2,543トン) 野菜等 777,000円(46件、777トン) WCS用稲 587,000円(7件、587トン) その他 53,000円(9件、53トン)							
	 堆肥散布の様子 堆肥センターでの堆肥製造の様子							
別添資料等								
無								
(事業一覧等)								
成果/評価 * 事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか	堆肥の購入費用に対する支援により、農家の負担を軽減し、化学肥料の使用量削減による環境に配慮した農業の推進及び耕畜連携の推進が図られました。							

款	項	目							
6	1	3	担当部局・課名		産業振興部農政課				
事業名			環境保全型農業直接支払交付金事業						
事業区分		継続事業		政策 6 活力ある産業					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 負担金, 補助及び交付金		⑤ 補助金 (補助費)		1,283	1,217	0	66	95.0%
	②				0	0	0	0	####
	③				0	0	0	0	####
	④				0	0	0	0	####
	⑤				0	0	0	0	####
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤の計) →				1,217	決算に関する説明書	
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →				0	該当/頁	210
	臨時会 補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →				1,217	該当/頁	211
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)									
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)		特定財源内訳				一般財源		
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和7年度	1,217		609	304	0	0	304		
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金		農業生産総合対策等補助金						
	県支出金		環境保全型農業直接支払対策事業費補助金						
	負担金等その他								
事業内容及び めざした目的 (具体的に)			化学肥料・化学合成農薬を原則5割以上低減する取組と合わせて行う、地球温暖化防止や生物多様性保全などに効果の高い営農活動を支援し、持続可能な農業経営及び環境に配慮した農業の推進を図る。						
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等			環境保全型農業直接支払交付金 1,216,760円(4件) ○化学肥料・化学合成農薬を使用しない栽培 190,400円(1件、136a) ○堆肥の施用 1,026,360円(3件、2,851a)  堆肥散布の様子 化学肥料・化学農薬を使用せず栽培された水稻						
別添資料等									
無									
(事業一覧等)									
成果/評価 * 事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか			国のみどりの食料システム法に基づき、堆肥の施用や、化学肥料・化学合成農薬の使用量低減の取組を支援することで、環境に配慮した農業が推進されました。しかしながら、事務手続きが煩雑であることや、令和9年度からの制度見直しにより、補助対象期間が5年に限られることが示されていることから、取組者の減少が懸念されます。						

款	項	目						
6	1	3	担当部局・課名	産業振興部農政課				
事業名			有害鳥獣被害防止対策事業					
事業区分			継続事業					
			政策6 活力ある産業					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称	予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 負担金, 補助及び交付金		⑤ 補助金 (補助費)	45,372	45,372	0	0	100.0%
	②			0	0	0	0	####
	③			0	0	0	0	####
	④			0	0	0	0	####
	⑤			0	0	0	0	####
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤の計) →		45,372	決算に関する説明書		
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →		0	該当/頁	210	
	臨時会 補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →		45,372	該当/頁	211	
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)								
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)		特定財源内訳				一般財源	
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他		
令和7年度	45,372		0	0	0	45,300	72	
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称					
	国庫支出金							
	県支出金							
	負担金等その他		ふるさと創生基金 (ふるさと納税分)					
事業内容及び めざした目的 (具体的に)			防護柵設置による「侵入防止」「環境改善」「捕獲」を基本対策として、特に、集落ぐるみの総合的な対策を支援することで、有害鳥獣による農業被害を減少させ、農地の保全を図る。また、狩猟免許取得やわな購入に対する支援により、新たな狩猟者を育成する。					
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等			○イノシシ・ニホンジカ捕獲報奨金 5,647,500円 捕獲実績:イノシシ706頭、シカ1,553頭 合計2,259頭 ○有害鳥獣被害防止柵設置事業 18,725,700円 個人:227件 集落:防止柵設置34件、箱わな購入1件、環境改善1件 ○有害鳥獣駆除班活動支援事業 20,724,170円 駆除実績:イノシシ760頭、シカ1,122頭 合計1,882頭 ○狩猟免許(第一種銃猟)取得支援事業 0円 補助件数:0件 ○狩猟免許(わな猟)取得等支援事業 274,000円 補助件数:12件					
別添資料等								
無								
(事業一覧等)								
成果/評価 * 事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか			駆除班による積極的な鳥獣の捕獲と集落ぐるみによる防護柵設置などの対策により、有害鳥獣による農業被害額は、減少傾向となっています。一方で、個体数が増加しているシカの捕獲頭数は、過去最高となりましたが、依然として増加傾向にあるため、捕獲に向けた対策を強化していく必要があります。					



箱わな



集落の防護柵設置

款	項	目							
6	1	3	担当部局・課名		産業振興部農政課				
事業名			鳥獣対策等地域支援機構負担金						
事業区分			新規事業		政策 6 活力ある産業				
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 負担金, 補助及び交付金		①負担金 (補助費)		8,640	8,640	0	0	100.0%
	②				0	0	0	0	####
	③				0	0	0	0	####
	④				0	0	0	0	####
	⑤				0	0	0	0	####
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤の計) →			8,640	決算に関する説明書		
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →			0	該当/頁	210	
	臨時会 補正		⑧ (⑥ + ⑦) 事業決算合計額 →			8,640	該当/頁	211	
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)									
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)		特定財源内訳				一般財源		
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和7年度	8,640		0	0	0	0	8,640		
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金								
	県支出金								
	負担金等その他								
事業内容及び めざした目的 (具体的に)			鳥獣対策の専門組織「一般社団法人広島県鳥獣対策等地域支援機構(テゴス)」の専任者と連携して、農家や地域への効果的な鳥獣被害対策の現地指導や研修会を継続的に行うことで、適切な防護柵の設置や環境改善を促進し、有害鳥獣による農作物被害のさらなる低減を図る。						
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等			【活動実績】 ・個人や集落からの相談対応・現地確認・指導:184回 ・集落の対策状況の点検:21回 ・研修会:19回 ※捕獲に関する業務は行っていません。   テゴスによる防護柵設置の指導 テゴスによる研修会						
別添資料等									
無									
(事業一覧等)									
成果/評価 * 事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか			本市専任フィールドアドバイザーにより、個人や集落に対する、きめ細やかな相談対応・現地確認・指導などが行われ、適正な防護柵の設置や環境改善が実施され結果、農作物の被害軽減につながりました。 引き続き、有害鳥獣による農作物被害の防止・軽減に向け、テゴスと連携との連携により、指導・相談ができる体制を強化し、個人や集落における、効率的・効果的な対策を推進します。						

款	項	目							
6	1	3	担当部局・課名		産業振興部農政課				
事業名			(仮称) みよしアグリパーク整備事業						
事業区分		継続事業		政策6 活力ある産業					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 委託料		①業務委託料(物件費)		4,400	4,290	0	110	98.0%
	② 委託料		④調査測量設計監理等委託料		3,828	3,109	0	719	81.0%
	③				0	0	0	0	###
	④				0	0	0	0	###
	⑤				0	0	0	0	###
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥(①~⑤の計) →			7,399	決算に関する説明書		
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →			0	該当/頁	210	
	臨時会補正		⑧(⑥+⑦)事業決算合計額 →			7,399	該当/頁	211	
100万円以上の不用額が生じた理由(該当のみ)									
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)	特定財源内訳				一般財源			
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他				
令和7年度	7,399	0	0	0	0	7,399			
特定財源 内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称							
	国庫支出金								
	県支出金								
	負担金等その他								
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	官民連携により、トレッタみよし周辺に(仮称)みよしアグリパークを整備することで、農畜産物の魅力発信、観光交流の促進など、魅力あるエリア開発を進める。								
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	○官民連携手法調査業務委託料 4,290,000円 本事業に関心のある事業者との個別ヒアリングを実施 事業の具体化に向けた手法の整理及び概算事業費の算出等 ○不動産鑑定評価等委託料 3,108,600円 用地取得に係る鑑定評価及び物件調査等を実施  (仮称) アグリパーク整備事業予定地								
別添資料等	無								
成果/評価 * 事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか	官民連携手法調査業務により、本事業に関心のある事業者とのヒアリングを重ね、実現可能な事業スキームの方向性の明確化を進めることが出来ました。本調査の結果を踏まえ、令和8年度のプロポーザル実施に向けた調整を行いました。 また、この度の鑑定評価等の実施により、すべての事業用地の取得手続きが完了しました。								

款	項	目						
6	1	3	担当部局・課名	産業振興部農政課				
事業名			薬用作物等栽培促進事業					
事業区分		継続事業	政策 6 活力ある産業					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称	予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 負担金, 補助及び交付金		⑤ 補助金 (補助費)	2,000	1,992	0	8	100.0%
	②			0	0	0	0	####
	③			0	0	0	0	####
	④			0	0	0	0	####
	⑤			0	0	0	0	####
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤の計) →			1,992	決算に関する説明書	
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →			0	該当/頁	210
	臨時会 補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →			1,992	該当/頁	211
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)								
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)	特定財源内訳				一般財源		
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和7年度	1,992	0	0	0	0	1,992		
特定財源 内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金							
	県支出金							
	負担金等その他							
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	水田などの地域資源を活用し、薬用作物の産地化を進めることで、農業所得の向上につなげる。							
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状 況写真/図面等	○薬用作物等栽培促進事業補助金 1,991,468円 三次市薬用作物等栽培技術研究会に対する補助金(試験栽培関係経費、備品購入費、視察研修費ほか) ・栽培者研修会の開催 ・先進地視察 ・試験栽培契約先(薬品メーカー)へのサンプル出荷の実施 ・機械化の推進による作業の省力化 ・生産面積拡大に向けた種苗の確保							
別添資料等								
無								
(事業一覧等)								
成果/評価 * 事業を執行した ことにより、どのよ うな成果や効果をも たらしたのか	共同研究契約を締結している(国)医薬基盤・健康・栄養研究所及び東京農業大学とともに、生産者の栽培技術の向上に向け、栽培研修会などを実施しました。また、薬品メーカーとの試験栽培契約のもと、重点品目(ヒロハセネガ、カノコソウ)の生産拡大に向けた取組を推進しました。 令和7年度から、新たに収穫機を導入し、機械化による作業の省力化を図りました。							



研修会の様子



収穫した薬用作物(ヒロハセネガ)の根

款	項	目								
6	1	3	担当部局・課名		産業振興部農政課					
事業名			担い手育成・強化事業							
事業区分		継続事業		政策 6 活力ある産業						
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%	
	① 負担金、補助及び交付金		補助金（補助費）		28,405	19,366	0	9,039	68.0%	
	②				0	0	0	0	####	
	③				0	0	0	0	####	
	④				0	0	0	0	####	
	⑤				0	0	0	0	####	
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥（①～⑤の計） →			19,366	決算に関する説明書			
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →			0	該当／頁	210		
	臨時会 補正		⑧（⑥+⑦）事業決算合計額 →			19,366	該当／頁	211		
100万円以上の不用額が生じた理由（該当のみ）		農地集積支援事業、集落法人等新規雇用事業及び、認定新規就農者育成支援事業の申請が見込みを下回ったため。								
歳入に関する 項目	決算額 （⑧）		特定財源内訳				一般財源			
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他				
令和7年度	19,366		0	0	0	19,300	66			
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称							
	国庫支出金									
	県支出金									
	負担金等その他		過疎地域持続的発展基金繰入金							
事業内容及び めざした目的 （具体的に）	認定新規就農者の農業経営の早期安定に向け、農業研修生と受入農家の研修に要する経費、ハウス等の施設に係る整備費やリース事業、機械購入に要する経費を支援する。 また、認定農業者及び集落法人に対し、農地集積の推進と従業員の新規雇用に対する支援を行い、農業所得向上と経営の安定を図る。									
事業実績 （詳細説明） 事業一覧表／状況写真／図面等	○農業研修者受入支援事業 500,000円 補助件数: 3件(研修生1、受入農家2) ○認定新規就農者育成支援事業 9,796,000円 補助件数: 7件(新規参入者6、経営継承者1) ○認定新規就農者リースハウス等整備支援事業 1,000,000円 補助件数: 1件(ブドウ棚1) ○集落法人等新規雇用事業 2,750,000円 集落法人等雇用者件(新規雇用2、継続雇用2) ○農地集積支援事業 5,319,300円 補助件数: 18件(法人14、個人4) 集積面積: 35.4ha									
	別添資料等 無 (事業一覧等)		 認定新規就農者育成支援事業で 導入された動力噴霧器							 認定新規就農者育成支援事業で 整備されたアスパラガス用ハウス
成果/評価 * 事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか	就農間もない認定新規就農者に対して、ハウス等の施設や機械導入に対する支援を行い、初期投資額の軽減が図られました。 既存の集落法人や認定農業者へ対して、農地の集積や新規雇用に対する支援を行い、経営の安定化が図られました。									

款	項	目								
6	1	3	担当部局・課名		産業振興部農政課					
事業名			農畜産物の生産力強化事業（農産物）							
事業区分		継続事業		政策6 活力ある産業						
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%	
	①	負担金、補助及び交付金	補助金（補助費）		30,000	18,459	0	11,541	62.0%	
	②				0	0	0	0	####	
	③				0	0	0	0	####	
	④				0	0	0	0	####	
	⑤				0	0	0	0	####	
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥（①～⑤の計） →			18,459	決算に関する説明書			
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →			0	該当／頁	210		
	臨時会 補正		⑧（⑥+⑦）事業決算合計額 →			18,459	該当／頁	211		
100万円以上の不用額が生じた理由（該当のみ）		振興作物産地化推進事業、果樹・花き生産振興支援事業、地産地消応援事業について、申請が見込みを下回ったため。								
歳入に関する 項目	決算額（⑧）		特定財源内訳				一般財源			
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他				
令和7年度	18,459		0	0	0	18,400	59			
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称							
	国庫支出金									
	県支出金									
	負担金等その他		ふるさと創生基金繰入金							
事業内容及び めざした目的 （具体的に）	市の振興作物及び地域の特性を生かした農産物の生産振興を図るとともに、地産地消及び6次産品化を推進することで、産地としての競争力の強化と経営の多角化を進め、市内農家の農業所得の向上と経営の安定化を図る。									
事業実績 （詳細説明） 事業一覧表／状況写真／図面等	○振興作物産地化推進支援事業 5,232,000円 補助件数:アスパラガス1件、ほうれんそう1件 新規植栽面積:9a ○果樹・花き生産振興支援事業 2,057,000円 補助件数:ぶどう1件 新規植栽面積:14a ○麦・大豆等生産振興推進事業 9,702,000円 補助件数:37件 対象作物面積:97ha ○6次産品化支援事業 1,000,000円 補助件数:1件(機械導入) ○地産地消応援事業 468,000円 補助件数:果樹1件(機械導入)									
	別添資料等		無							
成果/評価 * 事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか		振興作物産地化推進支援事業及び果樹・花き生産振興支援事業により、植栽条件整備に対して支援を行い、経営の安定とアスパラガス・ほうれんそうやぶどうの生産面積の拡大につながりました。 麦・大豆等生産振興推進事業では、水田の有効活用により麦・大豆などの地域特産品の生産維持・振興が図られました。 6次産品化支援事業では、自ら生産した農畜産物を加工するための機械導入に対して支援を行い、付加価値の向上につなげることができました。 地産地消応援事業では、機械導入に対して支援を行い、作業の効率化が図られ、農産物直売所等への出荷が促進されました。								



6次産品化支援事業
全自動分割パンまるめ機



振興作物産地化推進支援事業
アスパラガス用ハウス

款	項	目							
6	1	5	担当部局・課名 産業振興部農政課						
事業名			農畜産物の生産力強化事業（畜産）						
事業区分			継続事業 政策6 活力ある産業						
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	①	負担金、補助及び交付金	⑤補助金（補助費）		21,000	15,807	0	5,193	75.0%
	②				0	0	0	0	####
	③				0	0	0	0	####
	④				0	0	0	0	####
	⑤				0	0	0	0	####
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥（①～⑤の計） →			15,807	決算に関する説明書		
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →			0	該当／頁	214	
	臨時会 補正		⑧（⑥+⑦）事業決算合計額 →			15,807	該当／頁	215	
100万円以上の不用額が生じた理由（該当のみ）			当初予定されていた、牛舎と堆肥舎の建設が延期となったため。また、飼料価格の高騰等により、和牛の導入が当初の見込みを下回ったため。						
歳入に関する 項目	決算額 （⑧）		特定財源内訳				一般財源		
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和7年度	15,807		0	0	0	15,800	7		
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金								
	県支出金								
	負担金等その他		過疎地域持続的発展基金繰入金						
事業内容及び めざした目的 （具体的に）			和牛飼養農家の、増頭や規模拡大・生産性の向上を図るとともに、和牛の改良増殖を推進することで「みよし和牛」をブランド化し、収益性の高い畜産経営の確立をめざす。 また、酪農家の年中無休状態の解消と経営基盤の強化を図り、本市における酪農の維持発展を図る。						
事業実績 （詳細説明） 事業一覧表／状況写真／図面等			○畜産経営支援事業 2,437,200円 畜産ICT活用事業 120,000円(1件) 水田放牧促進事業 400,000円(放牧牛2頭) 肉用牛ヘルパー利用助成事業 917,200円(15戸) 牛舎整備事業 1,000,000円(1戸) ○和牛改良増進事業 6,430,600円 優秀繁殖雌牛導入事業 200,000円(1頭) 優秀繁殖雌牛保留事業 2,300,000円(31頭) 優秀受精卵移植事業 680,600円(117頭) ゲノム育種価検査事業 150,000円(15頭) 肥育和牛導入支援事業 3,100,000円(31頭) ○酪農経営支援事業 6,939,200円 酪農ヘルパー利用助成事業 1,319,200円(4戸) 優秀乳用牛導入事業 5,300,000円(53頭) 優秀乳用牛検査事業 80,000円(16頭) 優秀乳用牛保留事業 240,000円(8頭)						
別添資料等 無									
(事業一覧等)			 みよし和牛  みよし和牛認証マーク  分娩・発情監視装置						
成果/評価 * 事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか			飼料価格の高騰や子牛価格の変動など厳しい経営環境の中、各事業を通じて経営の安定を図り、飼養頭数を維持することができました。畜産農家の高齢化などにより経営体が減少している中で、今後も経営の維持・発展に向け支援を行い、経営基盤の安定化を図っていきます。 酪農については、飼料価格の高騰などの影響により厳しい経営環境が続いている中、一定数の乳用牛の導入、ヘルパー制度の利用による年中無休の解消が図られ、経営体の維持につながりました。 引き続き、労働時間の短縮や、和牛・乳用牛の導入、改良、保留事業などにより経営基盤の安定化に取り組みます。 また、昨年度、公募により決定した「みよし和牛」の認証マークを活用し、より一層の認知度向上とブランドの確立を図ります。						

款	項	目							
6	3	1	担当部局・課名		産業振興部農政課				
事業名			森林経営管理事業						
事業区分		継続事業		政策 6 活力ある産業					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 報 酬		④会計年度任用職員報酬		2,655	1,328	0	1,327	50.0%
	② 職員手当等		⑬一般職期末手当		525	262	0	263	50.0%
	③ 職員手当等		⑭勤労手当		441	220	0	221	50.0%
	④ 委 託 料		①業務委託料(物件費)		51,001	47,093	0	3,908	92.0%
	⑤ 負担金, 補助及び交付金		⑤補助金(補助費)		20,000	19,857	0	143	99.0%
補正 区分	6月補正	12月補正	○	⑥ (①~⑤の計) →				68,760	決算に関する説明書
	9月補正	3月補正	○	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →				2,621	該当/頁 220
	臨時会 補正			⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →				71,381	該当/頁 221
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)			アンケート意向調査後の森林調査及び森林評価に時間を要し、評価後に予定していた集積計画が策定できなかったため、保育間伐の事業量が大幅に減少したため。(21.00ha⇒6.15ha) また、会計年度任用職員が年度途中で退職されたため。						
歳入に関する項目	決算額 (⑧)	特定財源内訳				一般財源			
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他				
令和7年度	71,381	0	0	0	0	71,381			
特定財源 内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称							
	国庫支出金								
	県支出金								
	負担金等その他								
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	森林環境贈与税を財源として、森林経営の意向調査の結果に基づき、市による経営管理を希望される所有者に代わり、林業適地は林業経営体に再委託し、林業不適地については、市が管理することで、森林経営の効率化と適正な森林管理を促進する。また、公共施設周辺の森林整備及び住宅等に影響を及ぼす恐れがある危険木の伐採に対する支援を行い、市民生活の安全を確保する。								
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	○地域林政アドバイザーの雇用 2人 1,870,753円(報酬・職員手当・費用弁償) ○森林経営管理事業(意向調査・保育間伐・山林巡視) 11,548,900円 意向調査:2地区(83.05ha) 4,620,000円 保育間伐:2地区(6.15ha) 3,554,100円 山林巡視:7地区(85.32ha) 3,374,800円 ○公共施設周辺森林整備事業:5地区 35,544,300円 ○危険木伐採事業:37件 19,857,000円 ○森林作業道作新設支援事業:12,883m 2,560,000円								
	 保育間伐 公共施設周辺森林整備 危険木伐採								
別添資料等	無								
(事業一覧等)									
成果/評価 * 事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか	地域林政アドバイザー(県職員OB2人)、森林組合からの出向職員(1人)といった専門家を継続的に活用し、林業経営の効率化・森林資源の適正な管理を図りました。 また、公共施設へのアクセス道周辺の森林整備を行うとともに、住宅に近い危険木の伐採に係る費用を支援することで、市民の安心・安全な暮らしの確保につながりました。								

款	項	目							
6	3	4	担当部局・課名		産業振興部農政課				
事業名			森林環境保全直接支援事業 (分収林)						
事業区分		継続事業		政策 6 活力ある産業					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 委託料		①業務委託料 (物件費)		24,106	24,092	0	14	100.0%
	②				0	0	0	0	####
	③				0	0	0	0	####
	④				0	0	0	0	####
	⑤				0	0	0	0	####
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤の計) →			24,092	決算に関する説明書		
	9月補正	3月補正	○ ⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →			0	該当/頁	220	
	臨時会 補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →			24,092	該当/頁	221	
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)									
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)		特定財源内訳				一般財源		
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和7年度	24,092		0	19,983	0	0	4,109		
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金								
	県支出金		森林環境保全直接支援事業補助金						
	負担金等その他								
事業内容及び めざした目的 (具体的に)		森林が持つ多面的機能を発揮させるため、分収林の間伐等の森林施業及び森林作業道の開設などを行う。							
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等		○搬出間伐 9地区 施業面積合計 21.92ha 事業費合計 13,739,000円 粟屋町 5地区 施業面積 13.17ha 事業費 6,757,300円 穴笠町 1地区 施業面積 2.73ha 事業費 1,826,000円 君田町 1地区 施業面積 2.97ha 事業費 2,440,900円 甲奴町 2地区 施業面積 3.05ha 事業費 2,714,800円 ○路網整備 4地区 路網延長合計 3,647m 事業費合計 10,352,100円 粟屋町 1地区 路網延長 1,007m 事業費 4,174,500円 穴笠町 1地区 路網延長 1,277m 事業費 3,219,700円 君田町 1地区 路網延長 662m 事業費 1,552,100円 甲奴町 1地区 路網延長 701m 事業費 1,405,800円							
別添資料等									
無									
(事業一覧等)									
成果/評価 * 事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか		分収林の搬出間伐を行い、間伐材の売り上げの収益を所有者と市で分収するとともに、計画的な施業により、森林が持つ多面的機能の保持増進が図られました。 間伐材売上収益: 9,051,154円							



間伐後の林内



路網整備

款	項	目						
6	3	1	担当部局・課名	産業振興部農政課				
事業名			ひろしまの森づくり事業（環境貢献林整備事業）					
事業区分		継続事業	政策 6 活力ある産業					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称	予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 報酬		④会計年度任用職員報酬	1,466	1,466	0	0	100.0%
	② 職員手当等		⑬一般職期末手当	309	309	0	0	100.0%
	③ 職員手当等		⑭勤勉手当	260	260	0	0	100.0%
	④ 委託料		①業務委託料（物件費）	1,452	1,007	0	445	69.0%
	⑤ 負担金、補助及び交付金		⑥補助金（建設単独）	28,117	28,109	0	8	100.0%
補正 区分	6月補正	12月補正	○	⑤（①～⑤の計） →		31,151	決算に関する説明書	
	9月補正	3月補正	○	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →		100	該当／頁	220
	臨時会 補正			⑧（⑤+⑦）事業決算合計額 →		31,251	該当／頁	221
100万円以上の不用額が生じた理由（該当のみ）								
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)	特定財源内訳				一般財源		
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和7年度	31,251	0	31,250	0	0	1		
特定財源 内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金							
	県支出金	ひろしまの森づくり事業補助金（環境貢献林整備事業）						
	負担金等その他							
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	ひろしまの森づくり県民税を財源として、15年以上手入れがされず放置され、緊急に整備が必要な民有人工林の公益的機能を持続的に維持発揮するため、間伐や被害木の処理を行う。							
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表／状況写真／図面等	○林業振興支援員の雇用 1人 2,034,895円(報酬、職員手当) ○消耗品費 100,000円 ○環境貢献林整備事業推進調査委託料 1,006,500円 ・三次地方森林組合 907,500円(55.00ha) ・甲奴郡森林組合 99,000円(6.00ha) ○環境貢献林整備事業補助金 28,109,000円 人工林健全化(間伐) ・三次地方森林組合 22,018,000円(56.33ha) ・甲奴郡森林組合 2,238,000円(5.08ha) 被害木の処理 ・三次地方森林組合 3,853,000円(0.62ha)							
	別添資料等 無 (事業一覧等)	 人工林健全化（間伐）  被害木の処理						
成果/評価 * 事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか	手入れ不足で荒廃した、民有人工林の間伐が行われたことで、森林の健全化、土砂流出等の森林の災害の防止が図られました。							

款	項	目							
6	3	1	担当部局・課名		産業振興部農政課				
事業名			ひろしまの森づくり事業（里山林整備事業）						
事業区分		継続事業		政策6 活力ある産業					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 報 償 費		① 委員謝金		45	21	0	24	47.0%
	② 需 用 費		① 消耗品費		400	341	0	59	85.0%
	③ 役 務 費		① 通信運搬費		60	60	0	0	100.0%
	④ 委 託 料		① 業務委託費（物件費）		28,000	23,540	0	4,460	84.0%
	⑤ 負担金、補助及び交付金		⑤ 補助金（補助費）		2,500	2,356	0	144	94.0%
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥（①～⑤の計） →			26,318	決算に関する説明書		
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →			8	該当／頁	220	
	臨時会 補正		⑧（⑥＋⑦）事業決算合計額 →			26,326	該当／頁	221	
100万円以上の不用額が生じた理由（該当のみ）		申請見込であった里山林整備事業の取り下げなどがあったため。							
歳入に関する 項目	決算額（⑧）		特定財源内訳				一般財源		
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和7年度	26,326		0	26,321	0	0	5		
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金								
	県支出金		ひろしまの森づくり事業補助金（里山林整備事業）						
	負担金等その他								
事業内容及び めざした目的 （具体的に）	ひろしまの森づくり県民税を財源として、里山林の整備、森林・林業体験活動及び里山保全活動など、ハード・ソフト両面において、市民から提案された事業への支援により、里山林の荒廃防止と景観などの保全を図るとともに、森林・林業体験活動などを通じて、市民の里山保全等に対する意識の醸成を図る。								
事業実績 （詳細説明） 事業一覧表／状 況写真／図面等	○みよしの森づくり協議会委員謝礼 21,000円 ○旅費（普通旅費・費用弁償） 7,700円 ○消耗品費 341,100円 ○通信運搬費 60,000円 ○里山林整備事業委託料 23,540,000円（7地区、5.93ha） 三次地方森林組合 16,500,000円（5地区、1.63ha） 甲奴郡森林組合 7,040,000円（2地区、4.30ha） ○里山保全活動支援事業等補助金 2,355,660円（11団体、588人） 森林・林業体験活動支援事業 1,053,660円（7団体、484人） 里山保全活動支援事業 1,302,000円（4団体、104人）								
	森林体験活動状況 里山林整備状況								
別添資料等	無								
（事業一覧等）									
成果/評価 * 事業を執行した ことにより、どのよ うな成果や効果をも たらしたのか	景観保全や鳥獣被害防止など、住民団体などの提案に沿った里山林の整備を行い、里山林が持つ多面的機能の維持・増進が図られました。また、住民自らが里山林の整備活動に取り組むことの重要性や、森林の環境保全の重要性などについて理解が深まりました。								

款	項	目							
6	3	1	担当部局・課名		産業振興部・農政課				
事業名			ひろしまの森づくり事業 (特認事業)						
事業区分		継続事業		政策 6 活力ある産業					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	①	負担金, 補助及び交付金	⑤	補助金 (補助費)	32,000	16,300	0	15,700	51.0%
	②				0	0	0	0	####
	③				0	0	0	0	####
	④				0	0	0	0	####
	⑤				0	0	0	0	####
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤の計) →			16,300	決算に関する説明書		
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →			0	該当/頁	222	
	臨時会 補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →			16,300	該当/頁	223	
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)		ひろしまの森づくり事業等の交付実績が見込みを下回ったため。							
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)		特定財源内訳				一般財源		
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和7年度	16,300		0	16,300	0	0	0		
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金								
	県支出金		ひろしまの森づくり事業補助金 (特認事業)						
	負担金等その他								
事業内容及び めざした目的 (具体的に)		ひろしまの森づくり県民税を財源として、住民団体などによる地域特有の資源(景観・文化・歴史)保全及び活用、防災・減災、里山の課題解決(鳥獣被害防止等)などを目的とする森林整備活動に対する支援により、里山林の持続的な機能発揮を図る。							
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等		①畠敷町岩屋寺地区地域資源保全活用事業 4,000,000円 岩屋寺山公園東屋・展望台立替工事(1式)、岩屋寺周辺案内・史跡の看板作成(説明分付)(21個) ボランティアによる軽作業・看板設置(5回) ②三良坂町灰塚地区地域資源保全活用事業 4,000,000円 歩道の整備(階段工・ロープ柵・倒木処理)(1式)、標識類の整備(5基) ③石原地区里山林課題解決推進事業 4,300,000円 最も被害が顕著な道路沿いの里山林の林縁部のバッファゾーン整備(延長330m×幅10m=0.33ha) ④海渡地区里山林課題解決推進事業 4,000,000円 林道沿いのバッファゾーン整備(延長325m×幅10m=0.325ha)							
別添資料等 無 (事業一覧等)									
成果/評価 * 事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか		①畠敷町岩屋寺地区地域資源保全活用事業 岩屋寺周辺の森林、施設等の整備により、地域資源の保全と安全な森林体験活動の場としての魅力が増しました。 ②三良坂町灰塚地区地域資源保全活用事業 キャンプ場周辺の景観と遊歩道の整備により、市民や来場者の快適性と利便性の向上が図られました。 ③石原地区里山林課題解決推進事業 ④海渡地区里山林課題解決推進事業 地域課題である有害鳥獣対策として、林道沿いのバッファゾーンの整備により、鳥獣被害が軽減されました。							

款	項	目							
6	1	3	担当部局・課名		産業振興部 農政課				
事業名			中山間地域等直接支払交付金						
事業区分		継続事業		政策 6 活力ある産業					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 負担金、補助及び交付金	⑨交付金		468,000	467,434	0	566	100.0%	
	② 使用料及び賃借料	⑥事務機器等借上料		778	778	0	0	100.0%	
	③ 委託料	①業務委託料 (物件費)		6,413	6,138	0	275	96.0%	
	④								
	⑤								
補正 区分	6月補正	12月補正	⑤ (①~⑤の計) →			474,350	決算に関する説明書		
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし "0" を挿入 →			239	該当/頁	212	
	臨時会 補正		⑧ (⑥ + ⑦) 事業決算合計額 →			474,589	該当/頁	213	
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)									
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)	特定財源内訳				一般財源			
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他				
令和7年度	474,589	0	358,335	0	0	116,254			
特定財源 内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称							
	国庫支出金								
	県支出金	中山間地域等直接支払補助金、中山間地域等直接支払推進交付金							
	負担金等その他								
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	農業生産条件の不利な中山間地域において、集落などを単位として、農用地を維持・管理していくための取り決め (協定) に基づき、農業生産活動などを行う場合に面積に応じて補助金を交付することで、農業生産活動の継続を図る。								
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	○負担金、補助及び交付金 (⑨交付金) 467,433,664円 ・協定面積 3,173ha ・集落協定 205件 452,783,964円 ・個別協定 10件 14,649,700円								
	○使用料及び賃借料 (⑥事務機器等借上料) 777,480円 ・中山間地域等空間データ基盤管理支援システム賃借料 194,370円/月×4ヶ月 = 777,480円								
別添資料等 無 (事業一覧等)	○委託料 (①業務委託料 (物件費)) 6,138,000円 ・中山間地域等空間データ基盤管理支援システム再構築業務委託								
	  水路等の草刈り 鳥獣防止柵の整備								
成果/評価 * 事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか	協定に基づく農業生産活動により、農用地の維持管理が図られました。								

款	項	目							
6	2	1	担当部局・課名 産業振興部 農政課						
事業名			農業振興地域整備計画更新業務						
事業区分			継続事業		政策 6 活力ある産業				
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 委託料		業務委託料 (物件費)		7,000	6,435	0	565	91.9%
	②								
	③								
	④								
	⑤								
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤の計) →			6,435	決算に関する付属書		
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →			0	該当/頁	216	
	臨時会 補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →			6,435	該当/頁	217	
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)									
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)	特定財源内訳				一般財源			
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他				
令和7年度	6,435	0	0	0	0	6,435			
特定財源 内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称							
	国庫支出金								
	県支出金								
	負担金等その他								
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	農地の実態を総合的に把握し、情勢の変化に対応した農業振興地域整備計画とするため、農業振興地域の整備に関する法律に基づき基礎調査を行い、必要に応じて計画の全体的な見直しを行う。								
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状 況写真/図面等	○委託料 (①業務委託料 (物件費)) 6,435,000円 ・業務名 三次市農業振興地域整備計画変更業務 ・委託先 一般財団法人 広島県森林整備・農業振興財団 ・内 容 農業振興地域の整備に関する法律に基づき、三次市農業振興地域整備計画の見直しを行い、整備計画に定める整備計画書、農用地利用計画、計画附図等の作成を行った。								
別添資料等 無 (事業一覧等)	 計画附図の一例								
成果/評価 * 事業を執行了 ことにより、どの ような成果や効果 をもたらしたのか	三次農業振興地域整備計画について、定期見直しに係る資料が作成できました。作成した資料に基づき、今後、広島県との協議を経て整備計画の改訂を行い、優良農地の確保と農業生産基盤への効率的な投資を進めていきます。								

款	項	目							
6	2	1	担当部局・課名		産業振興部 農政課				
事業名			多面的機能支払交付金						
事業区分			継続事業		政策 6 活力ある産業				
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 負担金, 補助及び交付金	⑨ 交付金	175,000	170,388	0	4,612	97.0%		
	② 負担金, 補助及び交付金	⑤ 補助金 (補助費)	3,100	2,601	0	499	84.0%		
	③								
	④								
	⑤								
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤の計) →				172,989	決算に関する説明書	
	9月補正	3月補正	○ ⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →	4,195				該当/頁	216
	臨時会 補正		⑧ (⑥ + ⑦) 事業決算合計額 →				177,184	該当/頁	219
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)			県の最終予算割り当てが見込みを下回ったため。						
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)	特定財源内訳				一般財源			
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他				
令和7年度	177,184	0	130,597	0	0	46,587			
特定財源 内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称							
	国庫支出金								
	県支出金	多面的機能支払補助金							
	負担金等その他								
事業内容及び めざした目的 (具体的に)			農業・農村の有する国土の保全、水源の涵養、自然環境の保全、良好な景観の形成など、多面的機能の維持・発揮を図るために地域の共同活動に補助を行うことで、地域資源の適切な保全管理を推進する。						
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状 況写真/図面等			○負担金、補助及び交付金 (⑨交付金) 170,387,608円 ・農地維持 130件 協定農地 3,399ha 100,187,425円 ・資源向上 (共同) 125件 協定農地 3,336ha 60,209,138円 ・資源向上 (長寿命化) 9件 協定農地 358ha 9,991,045円 ○負担金、補助及び交付金 (⑤補助金 (補助費)) 2,601,000円 ・農村環境保全事業補助金 33件 2,601,000円						
別添資料等									
無									
(事業一覧等)									
成果/評価 * 事業を執行した ことにより、どのよう な成果や効果をも たらしたのか			地域の共同活動の実施により、地域資源の適切な保全管理が図られました。						



水路の泥上げ



景観形成活動

款	項	目								
6	2	2	担当部局・課名		産業振興部 農政課					
事業名			小規模農業基盤整備事業							
事業区分		継続事業		政策 6 活力ある産業						
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%	
	① 委託料		④調査測量設計監理等委託料		48,390	15,507	32,230	653	32.0%	
	② 工事請負費		①工事請負費		228,426	181,363	47,050	13	79.0%	
	③ 負担金、補助及び交付金		⑥補助金（建設単独）		29,700	29,690	0	10	100.0%	
	④									
	⑤									
補正 区分	6月補正	12月補正	⑤（①～⑥の計）➡				226,560	決算に関する説明書		
	9月補正	○	3月補正	○	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 ➡				3,920	該当／頁 218
	臨時会 補正		⑧（⑥＋⑦）事業決算合計額 ➡				230,480	該当／頁 219		
100万円以上の不用額が生じた理由（該当のみ）										
歳入に関する 項目	決算額（⑧）		特定財源内訳				一般財源			
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他				
令和7年度	230,480		0	139,214	26,400	32,921	31,945			
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称							
	国庫支出金									
	県支出金		基盤整備促進事業補助金（農業水路等長寿命化・防災減災事業） 外3件							
	負担金等その他		小規模農業基盤整備事業費分担金							
事業内容及び めざした目的 （具体的に）	地域農業の振興を図るため、担い手への農地の集積・集約化を推進するための農地整備や農業用水路、機能低下が生じている施設の機能回復、危険度が高く緊急度の高いため池の整備などを行う。									
事業実績 （詳細説明） 事業一覧表／状況写真／図面等	○委託料（④調査測量設計監理等委託料）15,506,700円 ○工事請負費（①工事請負費）181,363,300円 ○負担金、補助及び交付金（⑥補助金（建設単独））29,690,000円 ・小規模農業用施設等改良事業 47件									
		事業名	地区名	事業内容	委託料（円）	工事請負費（円）				
	【現年】	農業水路等長寿命化・防災減災事業	酒屋第4地区	ポンプ設備	445,500	2,951,800				
			のぞみが丘地区	ポンプ設備		206,800				
			藤兼	制御盤改修	1,089,000	14,223,000				
			三次市2期(廃止)	ため池廃止		20,603,000				
			三次市3期(廃止)	ため池廃止	4,895,000					
		農地耕作条件改善事業	三次第4地区	水路整備		20,909,900				
			三次第5地区	農地整備	352,000	43,430,400				
			三次第6地区	農地整備	6,200,700					
		小規模農業基盤整備事業	江田川之内地区	水路改修	302,500	4,054,600				
			成光池	堤体改修	902,000	4,400,000				
	岩谷池		洪水吐改修	1,320,000	2,684,000					
	米丸池		下流水路整備		2,000,900					
	高田奥池		斜樋改修		2,099,900					
	【繰越】	農業水路等長寿命化・防災減災事業	酒屋第4地区	ポンプ設備		29,558,700				
			のぞみが丘地区	ポンプ設備		22,125,300				
農地耕作条件改善事業		三次第5地区	農地整備		12,115,000					
別添資料等					合計	15,506,700	181,363,300			
無										
（事業一覧等）										
成果/評価 * 事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか	農業基盤の整備により、農業水利施設の長寿命化、維持管理に係るコスト、労力の低減を図り、生産意欲が向上しました。また、ため池廃止により、決壊した場合の被害を防除し、下流住民の安全確保が図られました。									

款	項	目							
6	2	2	担当部局・課名		産業振興部 農政課				
事業名			県営事業負担金						
事業区分		継続事業		政策 6 活力ある産業					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 負担金, 補助及び交付金		④ 負担金 (その他)		50,253	24,042	21,199	5,012	48.0%
	②								
	③								
	④								
	⑤								
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤の計) →			24,042	決算に関する説明書		
	9月補正	3月補正	○	⑦ その他の節の決算額 * 該当なし "0" を挿入 →			0	該当/頁	218
	臨時会 補正		⑧ (⑥ + ⑦) 事業決算合計額 →			24,042	該当/頁	219	
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)		県事業が予定より進捗しなかったため。							
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)		特定財源内訳				一般財源		
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和7年度	24,042		0	0	21,200	0	2,842		
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金								
	県支出金								
	負担金等その他								
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	県が実施するほ場整備事業に係る測量設計や工事、また、健全度が低いと判定されたため池の整備工事に対して負担金を支出する。								
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	○負担金、補助及び交付金 (④負担金 (その他)) 24,042,000円 1. 農業農村整備事業負担金 15,701,000円 (農地中間管理機構関連農地整備事業) ・小文地区 【現年】103,826,000円 × 5% ≒ 5,190,000円 【繰越】 34,252,000円 × 5% ≒ 1,712,000円 ・宇賀地区 【現年】 19,298,000円 × 5% ≒ 964,000円 【繰越】 85,449,000円 × 5% ≒ 4,272,000円 ・大力谷地区【現年】 11,261,000円 × 5% ≒ 563,000円 【繰越】 60,000,000円 × 5% = 3,000,000円 2. 農村地域防災減災事業負担金 8,341,000円 (ため池整備事業) ・蓮池 【繰越】 31,966,000円 × 7% ≒ 2,237,000円 ・新池・下池 【現年】 1,614,000円 × 7% ≒ 112,000円 【繰越】 85,600,000円 × 7% ≒ 5,992,000円								
別添資料等									
無									
(事業一覧等)									
成果/評価 * 事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか	県営のほ場整備事業及びため池整備事業に対して負担金を支出することにより、農業生産基盤の強化が図られました。								

款	項	目							
6	2	3	担当部局・課名		産業振興部 農政課				
事業名			県営事業負担金（備北南部地区広域営農団地農道整備事業）						
事業区分		継続事業		政策 6 活力ある産業					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 負担金, 補助及び交付金		④負担金（その他）		21,815	12,702	6,764	2,349	58.0%
	②								
	③								
	④								
	⑤								
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥（①～⑤の計） →			12,702	決算に関する説明書		
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →			0	該当／頁	220	
	臨時会 補正		⑧（⑥+⑦）事業決算合計額 →			12,702	該当／頁	221	
100万円以上の不用額が生じた理由（該当のみ）		県事業が予定より進捗しなかったため。							
歳入に関する 項目	決算額 （⑧）	特定財源内訳				一般財源			
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他				
令和7年度	12,702	0	0	12,600	0	102			
特定財源 内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称							
	国庫支出金								
	県支出金								
	負担金等その他								
事業内容及び めざした目的 （具体的に）	県が実施する備北南部地区広域営農団地農道整備事業に対して負担金を支出する。								
事業実績 （詳細説明） 事業一覧表／状 況写真／図面等	○負担金、補助及び交付金（④負担金（その他））12,702,000円 ・備北南部地区広域営農団地農道整備事業（備北南部2期地区）負担金 【現年】58,870,000円×10%＝5,887,000円 【繰越】68,150,000円×10%＝6,815,000円 合計 12,702,000円  備北南部 2 期地区								
別添資料等	無								
（事業一覧等）									
成果/評価 * 事業を執行した ことにより、どのよう な成果や効果をも たらしたのか	道路網整備により、農産物の加工・販売の推進、団地間、施設間の連携強化が図られます。								

款	項	目							
6	3	2	担当部局・課名		産業振興部 農政課				
事業名			林道整備事業						
事業区分		継続事業		政策 6 活力ある産業					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 工事請負費		① 工事請負費		10,500	9,900	0	600	94.0%
	②								
	③								
	④								
	⑤								
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤の計) →			9,900	決算に関する説明書		
	9月補正	3月補正	○ ⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →			635	該当/頁	222	
	臨時会 補正		⑧ (⑥ + ⑦) 事業決算合計額 →			10,535	該当/頁	223	
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)									
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)	特定財源内訳				一般財源			
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他				
令和7年度	10,535	0	6,435	3,400	0	700			
特定財源 内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称							
	国庫支出金								
	県支出金	林道改良事業費補助金							
	負担金等その他								
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	間伐などの森林施業を計画的に促進するため、林道の開設を行う。								
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状 況写真/図面等	○工事請負費 (①工事請負費) 9,900,000円 【現年】 ・林業専用道山家線 開設工事 5,500,000円 【繰越】 ・林業専用道山家線 開設工事 4,400,000円  林業専用道山家線								
別添資料等	無 (事業一覧等)								
成果/評価 * 事業を執行した ことにより、どのよう な成果や効果をも たらしたのか	林業専用道の開設を実施することで、間伐などの森林施業の計画的な促進につながりました。								

款	項	目						
6	3	2	担当部局・課名	産業振興部 農政課				
事業名			幹線林道比和・新庄線整備事業					
事業区分		継続事業	政策 6 活力ある産業					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称	予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 負担金, 補助及び交付金		①負担金 (補助費)	2,275	2,275	0	0	100.0%
	② 負担金, 補助及び交付金		④負担金 (その他)	48,764	40,416	7,665	683	83.0%
	③ 負担金, 補助及び交付金		⑥補助金 (建設単独)	5,696	5,696	0	0	100.0%
	④							
	⑤							
補正 区分	6月補正	12月補正	⑤ (①~⑤の計) →		48,387	決算に関する説明書		
	9月補正	3月補正	○	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →		6	該当/頁	222
	臨時会 補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →		48,393	該当/頁	225	
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)								
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)	特定財源内訳				一般財源		
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和7年度	48,393	0	0	38,900	278	9,215		
特定財源 内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金							
	県支出金							
	負担金等その他	大型林道整備事業分担金						
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	県が実施する幹線林道比和・新庄線整備事業に対して負担金を支出する。							
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	○負担金, 補助及び交付金 (①負担金 (補助費)) 2,274,932円 ・旧緑資源幹線林道事業 賦課金 2,274,932円 ○負担金, 補助及び交付金 (④負担金 (その他)) 40,416,000円 ・幹線林道比和・新庄線 (君田・布野区間) 整備事業に係る負担金 【現年】 603,220,000円 ×5% = 30,161,000円 【繰越明許】 205,100,000円 ×5% = 10,255,000円 ○負担金, 補助及び交付金 (⑥負担金 (建設単独)) 5,695,692円 ・旧緑資源幹線林道事業 受益者賦課金に係る補助金 5,695,692円							
別添資料等								
無								
(事業一覧等)								
成果/評価 * 事業を執行したことにより, どのような成果や効果をもたらしたのか	森林の適切な管理や流通促進のための林道網を整備することにより, 森林資源の利活用が推進されるとともに, 生活道としても地域振興に寄与しました。							



幹線林道 比和・新庄線(君田・布野区間) 冠山トンネル

款	項	目							
6	3	3	担当部局・課名		産業振興部 農政課				
事業名			小規模崩壊地復旧事業						
事業区分		継続事業		政策 6 活力ある産業					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 工事請負費		① 工事請負費		24,318	24,292	0	26	100.0%
	②								
	③								
	④								
	⑤								
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤の計) →			24,292	決算に関する説明書		
	9月補正	3月補正	○ ⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →			3,835	該当/頁	224	
	臨時会 補正		⑧ (⑥ + ⑦) 事業決算合計額 →			28,127	該当/頁	225	
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)									
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)	特定財源内訳				一般財源			
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他				
令和7年度	28,127	0	17,251	5,200	8,491	-2,815			
特定財源 内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称							
	国庫支出金								
	県支出金	小規模崩壊地復旧事業費補助金							
	負担金等その他	小規模崩壊地復旧事業費分担金							
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	人家裏山の山林崩壊の復旧や崩壊を予防するため、山留工などの治山復旧工事を実施する。								
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状 況写真/図面等	○工事請負費 (①工事請負費) 24,291,200円 【現年】 工事 2件 13,373,800円 ・廻神地区 7,066,400円 ・宇賀地区 6,307,400円 【繰越】 工事 2件 10,917,400円 ・雲通地区 3,878,500円 ・下布野地区 7,038,900円								
	  廻神地区雲通地区								
別添資料等	無								
(事業一覧等)									
成果/評価 * 事業を執行した ことにより、どのよう な成果や効果をも たらしたのか	人家の裏山の崩壊や浸食などで危険となっている箇所について、治山復旧工事を実施することで、住民の安全を確保することができました。								

款	項	目							
11	1	1	担当部局・課名		産業振興部 農政課				
事業名			現年災害農地復旧事業						
事業区分		継続事業		政策 6 活力ある産業					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 委託料		④調査測量設計監理委託料		10,779	9,949	0	830	92.0%
	② 工事請負費		①工事請負費		55,821	13,000	42,821	0	23.0%
	③								
	④								
	⑤								
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤の計) →		22,949		決算に関する説明書		
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →		80		該当/頁	294	
	臨時会 補正		⑧ (⑥ + ⑦) 事業決算合計額 →		23,029		該当/頁	297	
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)									
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)		特定財源内訳				一般財源		
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和7年度	23,029		0	11,700	3,000	270	8,059		
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金								
	県支出金		現年災害農地復旧費補助金						
	負担金等その他		現年災害農地復旧費分担金						
事業内容及び めざした目的 (具体的に)		大雨により被災した農地を復旧することで、農業基盤の維持を図る。							
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状 況写真/図面等		○委託料 (④調査測量設計監理委託料) 9,948,400円 【現年】 ・令和7年7月豪雨 農地災害査定測量設計業務委託 7,522,900円 ・令和7年8月豪雨 農地災害査定測量設計業務委託 (その1) 346,500円 ・令和7年8月豪雨 農地災害査定測量設計業務委託 (その2) 770,000円 ・令和7年8月豪雨 農地災害査定測量設計業務委託 (その3) 539,000円 ・令和7年災 農地災害実施設計書作成業務 770,000円 ○工事請負費 (①工事請負費) 13,000,000円 【繰越】 R6災 6件 ・R6災- 1号 (田) 5,535,200円 (契約額 5,611,100円の内数。残りは過年災害復旧へ計上) ・R6災- 2号 (田) 1,881,000円 ・R6災- 3号 (田) 977,900円 ・R6災- 4号 (田) 2,605,900円 ・R6災-51号 (田) 1,000,000円 (契約額 5,599,000円の内数。残りは過年災害復旧へ計上) ・R6災-52号 (田) 1,000,000円 (契約額 4,708,000円の内数。残りは過年災害復旧へ計上) 復旧状況 (ふとんかご) 復旧状況 (ブロック積)							
別添資料等									
無									
(事業一覧等)									
成果/評価 * 事業を執行した ことにより、どのよ うな成果や効果をも たらしたのか		農地の災害復旧工事を行うことにより、農業生産力の維持や農業経営力の安定及び農家負担の軽減が図られました。							

款	項	目							
11	1	1	担当部局・課名		産業振興部 農政課				
事業名			過年災害農地復旧事業						
事業区分		継続事業		政策 6 活力ある産業					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 委託料		④調査測量設計監理委託料		500	440	0	60	88.0%
	② 工事請負費		①工事請負費		10,400	8,383	0	2,017	81.0%
	③								
	④								
	⑤								
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤の計) →			8,823	決算に関する説明書		
	9月補正	3月補正	○ ⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →			0	該当/頁	296	
	臨時会 補正		⑧ (⑥ + ⑦) 事業決算合計額 →			8,823	該当/頁	297	
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)		工事請負費が見込みを下回ったため。							
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)		特定財源内訳				一般財源		
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和7年度	8,823		0	4,516	600	416	3,291		
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金								
	県支出金		過年災害農地復旧費補助金						
	負担金等その他		過年災害農地復旧費分担金						
事業内容及び めざした目的 (具体的に)		大雨により被災した農地を復旧することで、農業基盤の維持を図る。							
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状 況写真/図面等	○委託料 (④調査測量設計監理委託料) 440,000円 ・令和6年災 農地災害実施設計書作成業務 440,000円 ○工事請負費 (①工事請負費) 8,382,900円 【現年】 R6災 3件 ・R6災- 1号 (田) 75,900円 (契約額 5,611,100円の内数。残りは現年災害復旧へ計上) ・R6災-51号 (田) 4,599,000円 (契約額 5,599,000円の内数。残りは現年災害復旧へ計上) ・R6災-52号 (田) 3,708,000円 (契約額 4,708,000円の内数。残りは現年災害復旧へ計上)								
	別添資料等 無 (事業一覧等)		 復旧状況 (ブロック積)					 復旧状況 (ふとんかご)	
成果/評価 * 事業を執行した ことにより、どのよう な成果や効果をも たらしたのか		農地の災害復旧工事を行うことにより、農業生産力の維持や農業経営力の安定及び、農家負担の軽減が図られました。							

款	項	目							
11	1	2	担当部局・課名		産業振興部 農政課				
事業名			現年災害農業施設復旧事業						
事業区分		継続事業		政策 6 活力ある産業					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 委託料		③施設機器等管理委託料		517	517	0	0	100.0%
	② 委託料		④調査測量設計監理委託料		15,867	13,575	2,200	92	86.0%
	③ 工事請負費		①工事請負費		186,203	116,767	65,756	3,680	63.0%
	④ 使用料及び賃借料		⑥事務機器等借上料		1,400	1,400	0	0	100.0%
	⑤								
補正 区分	6月補正	12月補正	⑤ (①～⑥の計) ➡		132,259		決算に関する説明書		
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし "0" を挿入 ➡		29		該当/頁	296	
	臨時会 補正		⑧ (⑥ + ⑦) 事業決算合計額 ➡		132,288		該当/頁	297	
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)			工事請負費が見込みを下回ったため。						
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)		特定財源内訳				一般財源		
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和7年度	132,288		0	111,720	3,900	399	16,269		
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金								
	県支出金		現年災害農業施設復旧費補助金						
	負担金等その他		現年災害農業施設復旧費分担金						
事業内容及び めざした目的 (具体的に)			大雨により被災した農業施設を復旧することで、農業基盤の維持を図る。						
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等			○委託料 (③施設機器等管理委託料) 517,000円 ・農災増高申請字切図作成システム維持管理業務 ○委託料 (④調査測量設計監理委託料) 13,575,100円 ・令和7年7月豪雨 農業用施設災害査定測量設計作成業務 10,979,100円 ・令和7年8月豪雨 農業用施設災害査定測量設計業務委託 (その1) 1,353,000円 ・令和7年8月豪雨 農業用施設災害査定測量設計業務委託 (その2) 605,000円 ・令和7年災 農業用施設災害実施設計書作成業務 638,000円 ○工事請負費 (①工事請負費) 116,766,400円 【現年】 R7災 1件 ・R7災 西門 (頭首工) 応急仮 1,376,100円 【繰越】 R6年 10件 ・R6災 高保 (頭首工) 応急仮 3,278,000円 ・R6災 比多和 (頭首工) 応急仮 6,507,600円 ・R6災-501号 広瀬 (水路) 1,150,600円 ・R6災-502号 比多和 (頭首工) 69,568,000円 ・R6災-503号 二森 (頭首工) 5,773,100円 ・R6災-504号 上作木 (水路) 2,327,600円 ・R6災-551号 花本 (水路) 4,785,000円 ・R6災-552号 八次 (頭首工) 2,422,200円 ・R6災-553号 下ノ堤 (水路) 2,356,200円 ・R6災-554号 高保 (頭首工) 17,222,000円						
別添資料等			○使用料及び賃借料 (⑥事務機器等借上料) 1,399,992円 ・農災増高申請字切図作成システム賃貸借契約						
無 (事業一覧等)									
成果/評価 * 事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか			農業施設の災害復旧工事を行うことにより、農業生産力の維持や農業経営力の安定及び、農家負担の軽減が図られました。						

款	項	目							
11	1	2	担当部局・課名		産業振興部 農政課				
事業名			過年災害農業施設復旧事業						
事業区分		継続事業		政策 6 活力ある産業					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 委託料		④調査測量設計監理委託料		1,000	182	0	818	18.0%
	② 工事請負費		①工事請負費		127,255	124,606	0	2,649	98.0%
	③								
	④								
	⑤								
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤の計) →			124,788	決算に関する説明書		
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →			61	該当/頁	296	
	臨時会 補正		⑧ (⑥ + ⑦) 事業決算合計額 →			124,849	該当/頁	297	
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)		工事請負費が見込みを下回ったため。							
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)		特定財源内訳				一般財源		
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和7年度	124,849		0	99,089	900	142	24,718		
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金								
	県支出金		過年災害農業施設復旧費補助金						
	負担金等その他		過年災害農業施設復旧費分担金						
事業内容及び めざした目的 (具体的に)		大雨により被災した農業施設を復旧することで、農業基盤の維持を図る。							
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状 況写真/図面等		○委託料 (④調査測量設計監理委託料) 181,500円 ・R6災 農業用施設災害実施設計書作成業務 181,500円 ○工事請負費 (①工事請負費) 124,606,000円 【現年】 R6災 2件 ・R6災-502号 比多和 (頭首工) 16,526,800円 ・R6災-554号 高保 (頭首工) 103,670,200円 【繰越】 R5災 1件 ・R5災-512号 下本谷 (頭首工) 4,409,000円 							
別添資料等									
無									
(事業一覧等)									
成果/評価 * 事業を執行した ことにより、どのよう な成果や効果をも たらしたのか		農業施設の災害復旧工事を行うことにより、農業生産力の維持や農業経営力の安定及び、農家負担の軽減が図られました。							

款	項	目	担当部局・課名					
11	1	3	産業振興部 農政課					
事業名			現年災害林業施設復旧事業					
事業区分			継続事業					
			政策6 活力ある産業					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称	予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 委託料		④調査測量設計監理委託料	13,638	13,638	0	0	100.0%
	② 工事請負費		①工事請負費	148,913	0	148,913	0	0.0%
	③							
	④							
	⑤							
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤の計) →			13,638	決算に関する説明書	
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →			0	該当/頁	298
	臨時会 補正		⑧ (⑥ + ⑦) 事業決算合計額 →			13,638	該当/頁	299
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)								
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)		特定財源内訳				一般財源	
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他		
令和7年度	13,638		0	5,414	5,400	0	2,824	
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称					
	国庫支出金							
	県支出金		現年災害林業施設復旧費補助金					
	負担金等その他							
事業内容及び めざした目的 (具体的に)			大雨により被災した林業施設を復旧することで、林業基盤の維持を図る。					
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状 況写真/図面等			○委託料 (④調査測量設計監理委託料) 13,637,800円 ・林道横谷高暮線 測量設計業務委託					
別添資料等 無 (事業一覧等)								
成果/評価 * 事業を執行した ことにより、どのよ うな成果や効果をも たらしたのか			林道の災害復旧事業を行うことにより、林業に必要となる通行の確保が図る。本業務により、国の災害査定受検に必要となる設計資料の作成を行い、災害復旧事業の採択を受けることができました。					

款	項	目								
2	1	8	担当部局・課名		産業振興部・商工観光課					
事業名			プレミアム付商品券(三次藩札)発行事業							
事業区分			物価高騰対応事業		政策 6 活力ある産業					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%	
	① 負担金、補助及び交付金		補助金（補助費）		54,500	53,535	0	965	98.2%	
	②									
	③									
	④									
	⑤									
補正 区分	6月補正		12月補正		⑥（①～⑤の計） →			53,535	決算に関する付属書	
	9月補正		3月補正		⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →				該当／頁	76
	臨時会 補正		第 1 回臨時会		⑧（⑥ + ⑦）事業決算合計額 →			53,535	該当／頁	113
100万円以上の不用額が生じた理由（該当のみ）										
歳入に関する 項目	決算額 （⑧）		特定財源内訳				一般財源			
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他				
令和7年度	53,535		29,500	0	0	0	24,035			
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称							
	国庫支出金		物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金							
	県支出金									
	負担金等その他									
事業内容及び めざした目的 （具体的に）			物価高騰に直面する生活者を支援するとともに、市内消費を喚起するため、三次商工会議所と三次広域商工会が実施するプレミアム付商品券（三次藩札）発行事業に対して補助金を交付する。							
事業実績 （詳細説明） 事業一覧表／状 況写真／図面等	【実施期間】 令和7年6月2日から令和7年9月30日 【発行総額】 550,000千円（プレミアム分 50,000千円） 【発行総数】 50,000冊（予約販売：37,881冊、窓口販売：12,119冊） 1冊11,000円（1,000円×11枚/冊） 【取扱加盟店】 612店舗 【換金総額】 549,035千円（換金率：99.8%） 【補助金実績額】 ○補助金プレミアム分 49,913千円 ○事務経費分 3,622千円 ※同事業の全体事業費55,000千円の内、500千円は令和6年度実施分（※事務費）として執行済み。									
	別添資料等 無 （事業一覧等）									
成果/評価 * 事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか			市内での消費喚起のために実施したプレミアム付商品券（三次藩札）発行事業により、物価高騰などにより景気・消費が低迷している中で、市内消費の拡大および地域経済活性化に資するものとなりました。							

款	項	目							
2	1	8	担当部局・課名		産業振興部・商工観光課				
事業名			物価高騰対策小規模事業者等支援事業						
事業区分			物価高騰対応事業		政策 6 活力ある産業				
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 報 酬		会計年度任用職員報酬		583	284	0	299	48.7%
	② 役 務 費		通信運搬費		176	151	0	25	85.8%
	③ 委 託 料		業務委託料 (物件費)		3,112	3,112	0	0	100.0%
	④ 負担金、補助及び交付金		補助金 (補助費)		114,979	98,000	0	16,979	85.2%
	⑤								
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤の計) →				101,547	決算に関する付属書	
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →					該当/頁	76
	臨時会 補正	第 1 回臨時会	⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →				101,547	該当/頁	113
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)			当初の想定より申請件数が少なかったため。						
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)		特定財源内訳				一般財源		
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和7年度	101,547		61,176	0	0	0	40,371		
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金		物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金						
	県支出金								
	負担金等その他								
事業内容及び めざした目的 (具体的に)			経済対策事業の一環として、国の交付金を活用し、物価高騰の影響を受けている小規模事業者等に対し、法人、個人事業者に支援金を給付する。						
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等			市内で事業を営む小規模事業者等に対し、法人10万円、個人事業者5万円の支援金を給付。 ※本事業は繰越事業 ☐ 受付期間: 令和 7 年 4 月 1 日 (火) ~ 5 月 30 日 (金) ☐ 申請件数: 1,422件 ☐ 交付決定額: 98,000千円 ☐ 交付決定件数: 1,406件 ☐ 不交付決定件数: 16件 (支援金重複等 8 件、市税滞納 8 件) ☐ 内訳: 以下のとおり						
別添資料等			無						
(事業一覧等)			※同事業の全体事業費101,687千円のうち140千円は令和6年度実施分として執行済み						
成果/評価 * 事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか			本事業は、物価高騰に伴うコスト増により厳しい経営環境に直面している市内小規模事業者に対し、支援金を給付することで事業継続を支援しました。						

款	項	目							
7	1	2	担当部局・課名 産業振興部 商工観光課						
事業名			工場等設置奨励事業						
事業区分			継続事業 政策6 活力ある産業						
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 負担金、補助及び交付金		補助金（補助費）		12,470	12,441	0	29	99.8%
	②								
	③								
	④								
	⑤								
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥（①～⑤の計） → 12,441				決算に関する付属書		
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →				該当／頁	224	
	臨時会 補正		⑧（⑥+⑦）事業決算合計額 → 12,441				該当／頁	227	
100万円以上の不用額が生じた理由（該当のみ）									
歳入に関する 項目	決算額 （⑧）		特定財源内訳				一般財源		
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和7年度	12,441		0	1,500	0	0	10,941		
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金								
	県支出金		中山間地域雇用奨励事業補助金						
	負担金等その他								
事業内容及び めざした目的 （具体的に）	本市に工場等を新設または増設する者に対し、必要な奨励措置を講じることにより、本市産業の振興と雇用機会の拡大を図り、地域経済の活性化や市民生活の安定に資することを目的とする。								
事業実績 （詳細説明） 事業一覧表／状 況写真／図面等	■工場等設置奨励金：2件（6,822千円） 助成額：固定資産税等相当額 ■雇用奨励金：1件（3,000千円） 助成額：三次市に住所を有する常用雇用者 1人あたり100万円 ■水道助成金：1件（2,619円） 助成額：水道使用料金の1/2								
別添資料等	無 （事業一覧等）								
成果/評価 * 事業を執行した ことにより、どのよ うな成果や効果をも たらしたのか	本事業により、市内事業者の工場等の新設及び増設（設備等の拡充）につながり、それにより雇用の新規需要を生み出すことにつながりました。 また、操業に伴うランニングコスト分（水道代）を助成することで、物価高やエネルギー価格高騰の状況の中で企業の経営を支援しました。								

款	項	目							
7	1	2	担当部局・課名		産業振興部・商工観光課				
事業名			みよし産業応援事業						
事業区分			継続事業		政策 6 活力ある産業				
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 負担金、補助及び交付金		補助金（補助費）		18,000	8,190	0	9,810	45.5%
	②								
	③								
	④								
	⑤								
補正 区分	6月補正		12月補正		⑥（①～⑤の計） →			8,190	決算に関する付属書
	9月補正		3月補正		⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →				該当／頁 224
	臨時会 補正				⑧（⑥+⑦）事業決算合計額 →			8,190	該当／頁 227
100万円以上の不用額が生じた理由（該当のみ）			昨今の物価高騰等の影響により、事業環境は厳しさを増しており、起業意欲の低下や申請件数の停滞が認められる。また、申請済みにおいても補助金額が上限に達しない事例が生じていたため、結果的に不用額が生じた。						
歳入に関する 項目	決算額 （⑧）		特定財源内訳				一般財源		
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和7年度	8,190		0	464	0	5,700	2,026		
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金								
	県支出金		中山間地域副業・兼業人材活用支援事業補助金						
	負担金等その他		過疎地域持続的発展基金繰入金、企業版ふるさと納税寄附金						
事業内容及び めざした目的 （具体的に）			起業・開業や販路拡大、事業承継や人材確保、商店街の活性化などに取り組む事業者などに対し、費用の一部を補助することで、商工業の振興およびにぎわいの創出など地域経済の活性化を図る。						
事業実績 （詳細説明） 事業一覧表／状 況写真／図面等	みよし産業応援事業 補助金交付件数 32件 補助金額 8,190千円 ○新たに起業・出店される方への支援 ・起業支援事業 (3件 3,000千円) ・空店舗出店支援事業 (4件 1,525千円) ○開業時の広告宣伝支援 ・新規開業支援事業 (1件 12千円) ○商店街活性化支援 ・チャレンジショップ運営支援事業 (1件 655千円) ・商店街活性化支援事業 (3件 337千円) ○販路拡大支援 ・三次ブランド販路拡大支援事業 (6件 481千円) ○人材確保に関する支援 ・人材確保支援事業 (3件 450千円) ・外部人材活用支援事業 (8件 1,130千円) ・多様な人材確保支援事業 (3件 600千円) ○事業承継支援 ・事業承継支援事業補助金 (0件)								
	別添資料等 無 （事業一覧等）								
成果/評価 * 事業を執行了 ことにより、どのよ うな成果や効果をも たらしたのか			市内事業者の最大の課題である「人材確保」に対し、新設した「多様な人材確保支援事業」や「外部人材活用支援事業」などの施策が事業者のニーズに合致し、実際の雇用確保等において着実な成果を上げている。 また、増加する外国人材への対応など、社会情勢の変化に合わせた制度の見直しを図っており、今後の地域経済の維持・発展に不可欠な事業となっている。						

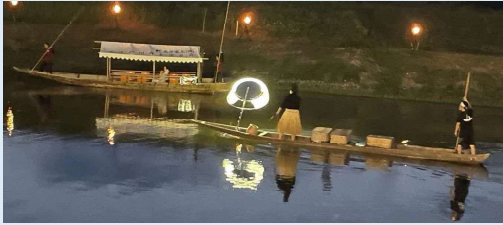
款	項	目							
7	1	2	担当部局・課名		産業振興部・商工観光課				
事業名			住宅リフォーム支援事業						
事業区分			継続事業		政策 6 活力ある産業				
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 負担金、補助及び交付金		補助金（補助費）		10,000	7,605	0	2,395	76.1%
	②								
	③								
	④								
	⑤								
補正 区分	6月補正		12月補正		⑥（①～⑤の計） →		7,605	決算に関する付属書	
	9月補正		3月補正		⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →			該当／頁	224
	臨時会 補正				⑧（⑥+⑦）事業決算合計額 →		7,605	該当／頁	227
100万円以上の不用額が生じた理由（該当のみ）			他制度利用等に伴う申請件数の減少、工事費上昇による中止等。						
歳入に関する 項目	決算額 （⑧）		特定財源内訳				一般財源		
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和7年度	7,605		0	0	0	0	7,605		
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金								
	県支出金								
	負担金等その他								
事業内容及び めざした目的 （具体的に）			建築関連工事の促進による地域経済の活性化及び市民の住環境の向上を目的に、市内に本店を有する建築業者を利用して、個人が住宅のリフォーム工事を行う場合に、工事に要した経費の一部を助成する。						
事業実績 （詳細説明） 事業一覧表／状 況写真／図面等			申請者が居住する建物を対象とし、直近 3 年以内に本補助金の交付を受けていないこと、 令和 8 年 2 月末までに工事完了するもの等を条件としている。 補助対象金額： 税抜き工事費が 5 0 万円以上のもので、工事費の10%（上限額10万円） 補助対象工事： 住宅の本体部分の増改築・修繕など 申請受付期間： 令和 7 年 5 月 7 日～ 5 月 2 1 日（89件） 申請件数： 89件 交付決定件数： 89件 交付決定金額： 8,308千円 交付確定件数： 82件（※申請者による取り下げ 7 件） 交付確定金額： 7,605千円						
別添資料等 無 （事業一覧等）									
成果/評価 * 事業を執行した ことにより、どのよう な成果や効果をも たらしたのか			市内建築事業者による施工を補助要件の一つとしていることから、幅広い事業者に対して地域経済の活性化にもつながり、市民の住環境整備にも貢献しました。						

款	項	目							
7	1	2	担当部局・課名		産業振興部・商工観光課				
事業名			小規模事業者経営持続支援事業補助金						
事業区分			継続事業		政策 6 活力ある産業				
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	①	負担金、補助及び交付金	補助金（補助費）		6,000	4,093	0	1,907	68.2%
	②								
	③								
	④								
	⑤								
補正 区分	6月補正		12月補正		⑥（①～⑤の計） →		4,093	決算に関する付属書	
	9月補正		3月補正		⑦その他の節の決算額 * 該当なし" 0 "を挿入 →			該当／頁	224
	臨時会 補正				⑧（⑥＋⑦）事業決算合計額 →		4,093	該当／頁	227
100万円以上の不用額が生じた理由（該当のみ）			想定より申請件数が少なかったため。						
歳入に関する 項目	決算額 （⑧）		特定財源内訳				一般財源		
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和7年度	4,093		0	0	0	0	4,093		
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金								
	県支出金								
	負担金等その他								
事業内容及び めざした目的 （具体的に）	市内の小規模事業者が生産性の向上や事業の効率化を図ることにより、経営力向上をめざす目的で導入する設備などの新設、増設に要する経費の一部を補助する。								
事業実績 （詳細説明） 事業一覧表／状 況写真／図面等	市内小規模事業者による設備等の新設や増設に係る経費の一部を補助する。 事業者が同様の国庫補助金を受けておらず、本市の固定資産税の課税対象となる償却資産のうち、経営力向上に資するものが対象。 取得価格20万円以上のもので、補助金交付は、一事業者 1 回限り 補助金申請時に、商工会議所・広域商工会の経営指導証明書が必要 補助率：補助対象経費の 4 分の 1（千円未満の端数切り捨て） 補助上限額：30万円 補助金申請受付 17件 補助金交付決定 17件 補助金交付確定 17件 4,093千円								
別添資料等									
無 （事業一覧等）									
成果/評価 * 事業を執行した ことにより、どのよう な成果や効果をも たらしたのか	本事業では、市内小規模事業者の設備投資を重点的に支援することで、生産性の向上や事業の効率化を図ることにつながりました。 特に本制度については、国の補助金制度と比較して申請手続きが簡易かつ迅速な交付決定を実現しており、小規模事業者からも「非常に利用しやすく、機動的な経営判断に資する」との評価を得ています。								

款	項	目							
7	1	2	担当部局・課名		産業振興部・商工観光課				
事業名			商工振興事業補助金						
事業区分			継続事業		政策 6 活力ある産業				
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 負担金、補助及び交付金		補助金（補助費）		1,000	1,000	0	0	100.0%
	②								
	③								
	④								
	⑤								
補正 区分	6月補正		12月補正		⑥（①～⑤の計） →		1,000	決算に関する付属書	
	9月補正		3月補正		⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →		0	該当／頁	224
	臨時会 補正				⑧（⑥＋⑦）事業決算合計額 →		1,000	該当／頁	227
100万円以上の不用額が生じた理由（該当のみ）									
歳入に関する 項目	決算額 （⑧）		特定財源内訳				一般財源		
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和7年度	1,000		0	0	0	0	1,000		
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金								
	県支出金								
	負担金等その他								
事業内容及び めざした目的 （具体的に）			市内事業者が実施する地域活性化事業（まちゼミ）や市の知名度アップに資する事業に対する支援を目的として補助金を交付する。						
事業実績 （詳細説明） 事業一覧表／状況写真／図面等			【地域活性化支援事業】（まちゼミ） 市内の店主や従業員が講師を務め、少人数制のゼミを開催することで、お店のファンづくりや業者間連携や販売促進を通じ、地域活性化を推進する取り組みを行いました。 ・補助金額 500,000円 ・事業費 683,469円（うち補助対象経費 571,730円） ・参加店舗 30店舗・40講座 ・受講者数 374人 【三次市の知名度アップ支援事業】 三次市の知名度アップ支援事業として、三次唐麺焼を活用し、イベント出店などを通じ、地元グルメとしての定着や郷土愛の醸成を図る取り組みを行いました。 ・補助金額 500,000円 ・事業費 1,348,495円（うち補助対象経費 641,820円） ○イベント出店 マツダスタジアム（令和7年8月2日）約600食販売 ○市内小学校出前授業 十日市小学校、三次小学校（各2回） ○加盟店PR 広島駅においてPR広告を掲載						
別添資料等 無 （事業一覧等）									
成果/評価 * 事業を執行了ことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか			本事業により、各商店の存在や特徴を知っていただくとともに、各商店と参加者との交流を通じ、各商店ならびに商店街のファンづくりと中心市街地の活性化につながりました。また、三次唐麺焼を通して、三次市の知名度アップに貢献しました。						

款	項	目							
7	1	3	担当部局・課名		産業振興部・商工観光課				
事業名			デジタル系企業誘致推進事業						
事業区分			継続事業		政策 6 活力ある産業				
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 旅 費		普通旅費		150	95	0	55	63.3%
	② 委 託 料		業務委託料 (物件費)		500	498	0	2	99.6%
	③ 使用料及び賃借料		建物借上料		130	33	0	97	25.4%
	④ 使用料及び賃借料		自動車借上料		150	30	0	120	20.0%
	⑤								
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤の計) →				656	決算に関する付属書	
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →					該当/頁	224
	臨時会 補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →				656	該当/頁	229
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)									
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)		特定財源内訳				一般財源		
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和7年度	656		0	327	0	0	329		
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金								
	県支出金		広島県チャレンジ・里山ワーク拡大事業補助金						
	負担金等その他								
事業内容及び めざした目的 (具体的に)			デジタル系企業等を対象に、市内の主要な観光施設の見学・体験をするとともに、民間企業各社における新たな働き方としての可能性を探るためのモニターツアーを実施し、市内への誘致を図るもの						
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状 況写真/図面等	本事業では、広島県中山間地域への進出やサテライトオフィス等の開設を支援するため、現地視察ツアーや企業と地域のマッチングイベントなどを通じ、広島県内で事業展開を検討している企業の支援を実施。								
	■デジタル系企業とのマッチングイベントへ参加 □開催日 11月13日 2月4日、5日 (計3回) □場 所 【11月13日】ふれあい会議室渋谷 (東京都渋谷区) (面談企業数10社) 【2月4日、5日】三次市、Hiromalab (ヒロマラボ) (広島市) (面談企業数5社) ※2月4日は三次市に参加企業を招いて予め示した地域課題について参加者で議論した。 ■現地視察の実施 広島県が主催するビジネスマッチングイベント「Hi! HIROSHIMA Business Days 2025」について、本市でも開催 □日 時 令和7年11月21日 (金) □場 所 コワーキング施設「巴家」 □内 容 共創をテーマにしたセミナー □参加者 6名								
別添資料等									
無 (事業一覧等)									
成果/評価 * 事業を執行了 ことにより、どのよ うな成果や効果をも たらしたのか			従来の首都圏デジタル系企業に対する環境面中心のPRから脱却し、令和7年度は当市の「地域課題」の提示を軸としたアプローチへ移行した。本手法により、課題解決に意欲を持つ企業との対話 (きっかけづくり) が生まれ、中長期的な視点でのビジネスチャンスを共同で模索することができた。						

款	項	目						
7	1	5	担当部局・課名	産業振興部商工観光課				
事業名			インバウンド誘客推進のための国際交流員任用事業					
事業区分			新規事業 政策6 活力ある産業					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称	予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 報 酬		会計年度任用職員報酬	2,964	2,739	0	225	92.0%
	② 旅 費		費用弁償	151	137	0	14	91.0%
	③ 役 務 費		手数料	75	75	0	0	100.0%
	④ 使用料及び賃借料		建物借上料	720	583	0	137	81.0%
	⑤ 備品購入費		その他備品購入費	88	85	0	3	97.0%
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①～⑤の計) →		3,619	決算に関する説明書		
	9月補正	3月補正 ○	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →		0	該当/真	230	
	臨時会 補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →		3,619	該当/真	233	
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)								
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)		特定財源内訳				一般財源	
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他		
	令和7年度	3,619	0	0	0	0	3,619	
	特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称				
		国庫支出金						
県支出金								
負担金等その他								
事業内容及び めざした目的 (具体的に)			インバウンドの誘致に向け、外国人目線からの観光素材の掘り起こし、受入環境整備への指導・サポートを行う国際交流員を受け入れ、一般社団法人三次観光推進機構(みよしDMO)のインバウンド誘客活動と連携した取組を行う。					
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等			自治体国際化協会(CLAIR)が行うJETプログラムを活用し、令和7年7月から国際交流員(CIR: Coordinator for International Relations)を会計年度任用職員として任用しています。 (国際交流員の主な活動) - 英語圏のネイティブスピーカーによるSNSを活用した情報発信 - SNSを活用した情報発信 109件(Instagram 投稿数 55回、TikTok 投稿数 54回) - 観光プロダクトの監修、造成支援 - モニターツアー参加、鶴飼バックヤードツアーガイドスクリプト英語翻訳 3件 - 外国人用看板の設置 - 三次駅前の観光案内の看板設置 - 観光案内所など観光おもてなし拠点でのサービスの見直し - Google Mapsへ観光スポットなどの写真と情報を定期的に投稿 - 観光ガイドブックなどの翻訳校正 - 鶴飼遊覧船外国語パンフレット作成 - OTA(外国人向け旅行)サイト等への登録支援 - 鶴飼(旅先体験予約サイト)の英語校正 2件 explore.miyoshi_Japan (Instagram, TikTok) 					
別添資料等 無 (事業一覧等)								
成果/評価 * 事業を執行了 ことにより、どの ような成果や効果をも たらしたのか			第2次三次市観光戦略のもと、国際交流員を活用したインバウンド誘客の取組を、一般社団法人三次観光推進機構(みよしDMO)と連携して行い、令和7年は、外国人観光客数 4,216人(昨年度比92%増)、外国人宿泊者数 1,912人(昨年度比113%増)と外国人観光客数の増加に寄与しました。					

款	項	目						
7	1	5	担当部局・課名	産業振興部商工観光課				
事業名			三次の鵜飼体験活動事業					
事業区分			新規事業					
			政策 4 豊かな心と生きがい					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称	予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 負担金, 補助及び交付金		補助金 (補助費)	1,688	256	0	1,432	15.0%
	②			0	0	0	0	###
	③			0	0	0	0	###
	④			0	0	0	0	###
	⑤			0	0	0	0	###
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤の計) →		256	決算に関する説明書		
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →		0	該当/頁	230	
	臨時会 補正		⑧ (⑥ + ⑦) 事業決算合計額 →		256	該当/頁	233	
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)			7月開催分の参加状況が当初見込んでいた乗船者数を大きく下回ったため。					
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)		特定財源内訳				一般財源	
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他		
令和7年度	256		0	0	0	200	56	
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称					
	国庫支出金							
	県支出金							
	負担金等その他		ふるさと創生基金 (ふるさと納税分)					
事業内容及び めざした目的 (具体的に)			市内の中学生を対象に、「三次の鵜飼」遊覧船への乗船と鵜匠の講話をセットにした体験活動を支援し、三次への愛着を育み、三次が誇る貴重な伝統文化への理解増進を図る。					
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状 況写真/図面等	三次の鵜飼体験活動事業 256千円 ○補助対象経費 ・鵜飼実演や鵜飼学習に係る経費 ・学習テキスト、広報チラシ、ポスター作成に係る経費 ・CATV音声告知に係る経費							
	 (鵜匠の講話)  (乗船体験)							
別添資料等	無							
(事業一覧等)								
成果/評価 * 事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか			三次の鵜飼体験活動事業を新規事業として実施しました。市内13校の中学生1,288人のうち35%にあたる450人の参加を目標としていましたが、実際の参加は中学生30人 (2.3%) にとどまり、目標を大きく下回る結果となりました。乗船した中学生にアンケートを実施しましたが、ポジティブな感想が多く、こうした生きた文化に直接触れる体験の場を提供することで、子どもたちの本市への愛着と伝統文化に対する理解を深めることができました。					

款	項	目																		
7	1	5	担当部局・課名	産業振興部商工観光課																
事業名			観光戦略推進事業 (DMO)																	
事業区分			継続事業 政策6 活力ある産業																	
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称	予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%												
	① 委託料		業務委託料 (物件費)	10,000	9,959	0	41	100.0%												
	② 負担金, 補助及び交付金		補助金 (補助費)	90,000	90,000	0	0	100.0%												
	③			0	0	0	0	####												
	④			0	0	0	0	####												
	⑤			0	0	0	0	####												
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤の計) →		99,959	決算に関する説明書														
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →		0	該当/頁	230													
	臨時会 補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →		99,959	該当/頁	233													
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)																				
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)		特定財源内訳				一般財源													
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他														
令和7年度	99,959		0	0	0	99,900	59													
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称																	
	国庫支出金																			
	県支出金																			
	負担金等その他		過疎地域持続的発展基金繰入金																	
事業内容及び めざした目的 (具体的に)																				
三次市観光戦略に基づく観光プロモーションの展開及び一般社団法人三次観光推進機構(みよしDMO)の運営などを支援することで観光における「稼ぐ力の創出」につなげる。																				
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等																				
●観光プロモーション業務 (委託先)一般社団法人三次観光推進機構 9,959,000円 (主な内容) (1)テレビやSNSを活用したキャンペーン等によるPR業務 ・テレビ番組制作・放映 3回、SNS広告掲載、JAF Mate掲載、安田女子大学との産学官連携JAFドライブスタンプラリー実施、JAFメルマガ配信・プレゼント企画実施、インバウンド向けのFAMツアー(視察旅行)実施 (2)国内外の旅行会社への営業活動(市内観光事業者への支援、インバウンド誘客) ・旅行会社への営業支援 5回、営業活動訪問 78社 (3)2025台北国際旅行博への出展による観光PR (4)スポーツイベント会場等での観光案内、観光PR ●観光戦略推進事業 (補助団体)一般社団法人三次観光推進機構 90,000,000円 (主な内容) (1)運営補助(人件費、事務所経費等) 63,738,706円 (2)事業補助(着地整備、マーケティング・プロモーション・統計、資源開発事業、インバウンド推進) 26,261,294円 ・観光客統計調査、WEBやセンサーによる来訪者調査、観光情報案内冊子の制作、観光消費額向上のための宿泊・飲食・広域周遊促進プロモーション、観光コンテンツの継続的な情報発信(WEB サイトリニューアル)、SNSプロモーション・講習会の開催、地域資源を活用した観光商品の開発支援・販売支援 ・SNS総フォロワー数増(R6年18,425人→R7年27,153人)																				
別添資料等																				
無																				
(事業一覧等)																				
成果/評価 * 事業を執行了ことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか																				
入込率は目標値に届きませんでしたが、宿泊者数、観光消費額は目標値を超え、結果として稼ぐ力の創出に十分つな がりました。特に観光消費額は第2次三次市観光戦略に示す令和10年度目標値(77億円)を大幅に超える数値を 達成しました。																				
<table><tr><td>R07</td><td>観光消費額 (百万円)</td><td>宿泊者数 (人)</td><td>入込率 (%)</td></tr><tr><td>目標値</td><td>7,400</td><td>172,000</td><td>72.0</td></tr><tr><td>実績値</td><td>8,684</td><td>178,080</td><td>66.3</td></tr></table>									R07	観光消費額 (百万円)	宿泊者数 (人)	入込率 (%)	目標値	7,400	172,000	72.0	実績値	8,684	178,080	66.3
R07	観光消費額 (百万円)	宿泊者数 (人)	入込率 (%)																	
目標値	7,400	172,000	72.0																	
実績値	8,684	178,080	66.3																	

款	項	目						
7	1	5	担当部局・課名	産業振興部商工観光課				
事業名		三次市プロ野球公式戦開催実行委員会負担金						
事業区分	継続事業		政策 4 豊かな心と生きがい					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称	予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	①	負担金、補助及び交付金	負担金（補助費）	8,700	8,457	0	243	97.2%
	②							
	③							
	④							
	⑤							
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥（①～⑤の計） →		8,457	決算に関する付属書		
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし" 0 "を挿入 →		0	該当／頁 230		
	臨時会 補正		⑧（⑥＋⑦）事業決算合計額 →		8,457	該当／頁 233		
100万円以上の不用額が生じた理由（該当のみ）								
歳入に関する 項目	決算額 （⑧）	特定財源内訳				一般財源		
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和7年度	8,457	0	0	0	0	8,457		
特定財源 内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金							
	県支出金							
	負担金等その他							
事業内容及び めざした目的 （具体的に）	三次市において、継続的にプロ野球公式戦を誘致・開催するとともに、市外での観戦も含めて、広く市民にレベルの高い試合の観戦機会を提供し、プロ野球等を通してスポーツの振興と青少年の健全な育成を図るとともに地域経済の活性化に寄与することを目的とする。							
事業実績 （詳細説明） 事業一覧表／状 況写真／図面等	【収支決算状況】令和7年度		事務費	614,819円	 広島市民広島カープ応援隊ツアー			
	事業収入	6,876,100円	会議費	5,437円				
別添資料等 無 （事業一覧等）	負担金	8,456,345円	事業費	14,934,901円	 プロ野球ウエスタン・リーグ公式戦			
	雑収入	561,012円	租税公課	338,300円				
成果/評価 * 事業を執行した ことにより、どのよう な成果や効果をも たらしたのか	収入合計	15,893,457円	支出合計	15,893,457円				
【事業実施状況】令和7年度								
○三次市民広島東洋カープ応援隊ツアー								
実施月日：令和7年8月2日（土）18:00試合開始								
対象試合：広島東洋カープVS中日ドラゴンズ								
実施内容：バスツアー230人 JR芸備線ツアー52人 合計282人								
○2025プロ野球ウエスタン・リーグ公式戦								
実施月日：令和7年6月29日（日）12:30試合開始								
開催場所：電光石火きんさいスタジアム三次（みよし運動公園野球場）								
観客数：1,552人								
三次市民広島東洋カープ応援隊ツアーでは、市民のプロスポーツ観戦の機会を提供できました。ウエスタン・リーグ公式戦の招致では、市内でのプロスポーツの観戦機会の提供やカープ選手による野球教室を開催することで交流を創出し、スポーツの振興や青少年の育成が図られました。また、球場内で市内事業者による物販を行ったほか、来場者に対してアナウンスによる観光施設の紹介等を行い、消費拡大や市内観光施設の周遊促進につながりました。なお、当実行委員会は、今後のさらなるスポーツ振興の推進及び効率的な事業運営体制の構築を図るため、令和8年3月31日をもって解散し、以降の事務については三次スポーツコミッションへ移管いたしました。								